

お国柄か？2転3転したバイヨン中学校開校式の日程も、ギリギリ1週間前に決まり、ほっ！しかし、学校側やその他多くの関係者にとっては針のむしろの年明けでした。

2016年1月16日、30度を越す炎天下の中、開校式典は州知事・地元国会議員の参列のもと、州の儀典局によってすべてが取り仕切られ、目を見張るような規模と厳粛さをもって挙行されました。一方、前日15日には、学校主催の開校式がすべての支援者に感謝の気持ちを届ける会として、前者とは対照的な和やかな雰囲気の中で催されました。



「支援者のみなさんを代表して州政府より感謝状をいただきました。」

バイヨン中学校建設に関わる民間基金及び支援者の皆さんからの募金活用状況

2013年度・管理棟建設（職員室・パソコン室）⇨ ひろしま・祈りの石国際教育交流財団 + 蒲郡国際交流協会
 ・運動場整地・運動施設設置（サッカー・バレー・鉄棒・砂場）⇨ 日本国際協力財団 + 支援者
 ・太陽光発電システム ⇨ 積水ハウスマッチングプログラム + 蒲郡ロータリークラブ

2014年度・管理棟増設（理科室）⇨ 同上 + 蒲郡国際交流協会 + 支援者

2015年度・多目的倉庫建設（体育倉庫・農具庫）⇨ 蒲郡国際交流協会 + 支援者

※ そのた支援者の皆様方からは、教材教具・パソコン・靴・衣料品・給食用食器類・学用品等のたくさんの支援品を頂戴いたしました。「ありがとうございました。」

2013年10月の開校以来、本法人が当面の教育活動の目標として掲げ支援を続けてきた記念すべき第1回運動会。600人を超える住民と、100人近くの日本・アメリカの関係者が加わっての華やいだ応援席。アンコールの森を引き裂くような歓声と拍手の渦。生徒のエネルギーが集中と発散を繰り返しつつやがて静寂へ。校史に記念すべき第一歩を印しました。

本法人スタッフの金田勝己氏（元津具中学校長）を中心に3年間積み上げてきた体育授業の成果が花開いた感動の一日。氏の頬に一筋の光るものを発見した時、バイオン中学校の教育は決して裏切らないと確信させられました。

※以下◇は、「運動会反省アンケート（生徒403名）」からの生徒の声

◇「素晴らしいパワーのあった運動会」



◇「体づくりの仕方、強い体の作り方がわかった」



◇「すごく楽しくて興奮した」



◇「責任感を覚えた」

◇「生徒、先生、コミュニティーの仲が深まった」



実施種目人気番付
（運動会アンケート結果より）

- ① ラジオ体操
- ② 綱引き
- ③ 入場行進
- ④ 4人5脚
- ⑤ リレー
- ⑥ 全校ダンス
- ⑦ 障害物リレー
- ⑧ 大玉送り
- ⑨ ムカデ競走
- ⑩ 100M走
- ⑪ 騎馬戦
- ⑫ 袋跳び競走
- ⑬ 竹引き合戦
- ⑭ タイヤころがし
- ⑮ 200M走

カンボジアの子どもたち・先生へ「伸びよ！輝け！学校づくり募金」

募金：1口2千円 あなたの2千円で公立学校の無料登校の実現が、さらに中卒者の就職の可能性を拓きます。

※国からの学校運営費は極めて少額で、小中学校では教材費・テスト代等の集金が日常化しており、このことが就学率を停滞させる原因にもなっている。

募金先：特定非営利活動法人オアシス 郵便為替：00840-8-123690